

JIS A 6916 C-1 認証製品



ハイモル マックス[®] #5



認証番号 GB0310015
セメント系下地調整塗材
JIS A 6916 C-1

抜群の施工性!

完全プレミックスモルタル(一材型製品)

再乳化形粉末樹脂(アクリル系カチオン)入り

- ・ 高品質、高性能、作業性向上。
- ・ 水練りだけでポリマーセメントモルタルとしてご使用いただけます。



ゼロアスベスト製品
昭和電工建材のプレミックスモルタルは全て、石棉や石棉関連の素材を一切含まないゼロアスベスト製品です。

NEW

適用部位	内・外壁、内部床、天井等
標準塗厚	0~1mm
C-1規定範囲	0.5~1mm厚
標準塗面積	約21m ² /袋(1mm厚)
練り上がり量	約21ℓ
用途	RC躯体・PC板等の内外部補修、 全面しごき塗り下地調整等
荷姿	25kg防湿紙袋入り

※用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。
※特殊下地面への施工は避けてください。

日本建築仕上材工業会登録

商品名	ハイモルマックス [®] #5
表示登録番号	1908027
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

本製品は、JCQAによりISO9001認証された製造事業所によりつくられています

昭和電工建材株式会社

1 下地処理

○下地のレイトンス、脆弱層、脂分、汚れ等を高圧洗浄、ワイヤブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃を行ってください。高強度コンクリートにつきましては、必ず高圧洗浄を行ってください。

※パネコート型枠を使用した躯体の場合、必ず高圧洗浄、ワイヤブラシ又はサンダー掛け等を行ってください。
 ※下地が高強度コンクリートの場合は、必ず超高圧洗浄(吐出圧力150MPa以上)を行ってください。
 ※浮き、剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

○塗り付け箇所は下地の乾燥後、吸水調整材として必ずハイモルエマルジョンの5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

2 混練

ハイモルマックス®#5



1袋(25kg)



清水



約9.5ℓ

所定量の清水(約9.5ℓ)を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらマックス#5を徐々に加え、十分に練り混ぜ(約3分)、施工軟度に調整してください(可使時間は約1時間です)。練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

3 塗り付け

○吸水調整材を塗布した下地表面が乾燥後に、鏝圧を十分にかけて厚さ0.5mm程度でガリッと下こすりを実施後、所定の厚さに塗り付けてください。

○1日のコテ作業での塗り厚は1mm以下としてください。

4 養生

○仕上材施工までの養生期間は9日(冬期14日)以上としてください。また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。養生期間内に降雨・降雪等が考えられる場合には、適切なシート養生等を行ってください。

⚠ 詳細は施工要領書をご確認ください。標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

試験項目		試験結果	品質基準(JIS A 6916 : 2014) 【セメント系下地調整塗材1種】 C-1
軟度変化 %		0.4	-20~20
耐ひび割れ性		ひび割れの発生は認められなかった	ひび割れがない
耐衝撃性		ひび割れ及び剥がれの発生は認められなかった	ひび割れ及び剥がれがない
付着強さ N/mm ²	標準養生時	1.3	0.7以上
	低温養生時	1.2	0.5以上
吸水量 g		1.3	2.0以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	表面状態	割れ、膨れ及び剥がれは認められなかった	割れ、膨れ及び剥がれがない
	付着強さ N/mm ²	1.6	0.7以上
	破断位置	下地調整塗材	仕上塗材だけで破断した場合は付着強さは0.5以上

試験場所:昭和電工建材(株)技術管理部内
 記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。

注意事項

〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- やむを得ず施工する場合は、適切な養生(シート養生等)を行い、直接雨や雪がからないようにしてください。強度不足や白華(エフロ)の原因となります。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常ありません。

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
 皮膚に付着した場合: 直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 誤飲した場合: 大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉

- 雨露のからまない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

〈運送上の注意〉

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。

このカタログの記載内容は2019年9月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
 カタログに記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、安全データシート(SDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■本社・建設資材営業部

〒221-8517
 横浜市神奈川区恵比須町8番地
 TEL(045)444-1691
 FAX(045)444-1699
<http://www.sdk-k.com/>

■仙台営業所	〒983-0841	仙台市宮城野区原町3-7-14	TEL (022) 742-5077	FAX (022) 291-1911
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄3-11-23	TEL (052) 249-3151	FAX (052) 249-3152
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06) 6100-2202	FAX (06) 6100-1232
■福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL (092) 281-9881	FAX (092) 281-9885
■関東SCMセンター	〒120-0024	足立区千住閑屋町1-4	TEL (03) 3881-5001	FAX (03) 3870-3952
■東北SCMセンター	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町1-7-2	TEL (022) 231-2070	FAX (022) 231-2073
■中部SCMセンター	〒452-0837	名古屋市西区十方町172	TEL (052) 501-2421	FAX (052) 501-2424
■関西SCMセンター	〒567-0058	茨木市西豊川町14-3	TEL (072) 641-6399	FAX (072) 641-6401

[■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所]